

- 《履修上の留意事項》
1. 遅刻をしないこと。
 2. 講義中は私語を慎むこと。
 3. 机の上には講義と関係のないものは一切おかないこと。
 4. 授業の順序や担当者に変更のある場合には事前に通知する。
 5. 数回分のプリントをまとめて配布する場合があるので、忘れずに持参すること。
 6. 非常勤講師による講義のため、週割とは異なる日時で開催することがあるので日割を確認すること。

《担当者名》 武田涼子(r-takeda@hoku-iryo-u.ac.jp)、佐々木祐二、山根裕司、舘田健児(非常勤講師)、神谷智昭(非常勤講師)、小林拓馬(非常勤講師)、宮川健(非常勤講師)、吉岡千佳(非常勤講師)、山根慎太郎(非常勤講師)、松橋智弥(非常勤講師)、濱野博基(非常勤講師)

【概要】

骨・関節・神経・筋組織などの運動器に発生する主な外傷と障害について、病態生理、臨床症状、理学所見、診断法、予後、保存・手術治療、さらにリハビリテーション医療への展開について、整形外科学的観点から学習する。これらを通じて、理学療法および作業療法を実践するうえで必要となる整形外科疾患の基礎知識と治療概念を学ぶ。

【学修目標】

一般目標：

リハビリテーションを行う上で不可欠な、整形外科疾患の病態および症状、診断、検査、治療に関する知識を身につける。

行動目標：

1. 整形外科疾患の病態を理解する。
2. 整形外科疾患の症状・理学所見・診断方法を理解する。
3. 整形外科疾患の保存・手術治療を理解する。
4. 整形外科疾患のリハビリテーション治療を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	整形外科における診断方法と治療	・整形外科における診断の流れを学ぶ。 ・臨床所見・整形外科的スペシャルテスト・検査について学ぶ。 ・各種の治療(薬物療法、注射療法、外固定療法、装具療法、手術療法、運動療法)について学ぶ。	小林拓馬
2	外傷	上下肢・体幹の骨折・脱臼・捻挫の概念・診断・合併障害・治療法について学ぶ。	小林拓馬
3	外傷	上下肢・体幹の骨折・脱臼・捻挫の概念・診断・合併障害・治療法について学ぶ。	小林拓馬
4	脊髄損傷	脊髄損傷の概念・診断・合併障害・治療法について学ぶ。	宮川健
5	関節リウマチ	慢性関節リウマチの病因と病態、臨床所見、診断と検査、内科的治療と手術について学ぶ。	武田涼子 佐々木祐二 山根裕司
6	骨代謝疾患	骨代謝の生理と骨代謝疾患の診断と評価について学ぶ。骨粗鬆症をはじめとする骨代謝疾患の概念、診断、治療について学ぶ。	小林拓馬
7	骨軟部腫瘍	骨肉腫をはじめとする骨軟部腫瘍の病因と疫学、診断、治療について学ぶ。	小林拓馬
8	末梢神経・循環障害	代表的な四肢の末梢神経障害・循環障害の概念・診断・治療について学ぶ。 ・胸郭出口症候群 ・肘部管症候群 ・手根管症候群 ・末梢神経損傷 ・四肢循環障害 ・複合性局所疼痛症候群	吉岡千佳 山根慎太郎 松橋智弥 濱野博基

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
9	上肢の整形外科疾患	手関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・橈骨遠位端骨折 ・舟状骨骨折 ・腱損傷 ・上腕あるいは前腕切断 ・キーンバック病 	吉岡千佳 山根慎太郎 松橋智弥 濱野博基
10	上肢の整形外科疾患	肘関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・上腕骨外側上顆炎 ・野球肘 ・変形性肘関節症 ・上腕骨内側上顆炎 ・肘内障 	吉岡千佳 山根慎太郎 松橋智弥 濱野博基
11	上肢の整形外科疾患	肩関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・腱板断裂 ・肩関節脱臼 ・インピンジメント症候群 ・凍結肩 ・投球障害肩 ・変形性肩関節症 	吉岡千佳 山根慎太郎 松橋智弥 濱野博基
12	脊椎の整形外科疾患	脊椎の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・頸椎症 ・後縦靭帯骨化症 ・脊柱管狭窄症 ・腰椎分離症 	宮川健
13	脊椎の整形外科疾患	脊椎の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・側弯症 ・椎間板ヘルニア ・化膿性脊椎炎 ・変形性脊椎症 	宮川健
14	股関節の整形外科疾患	股関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・変形性股関節症 ・突発性大腿骨頭壊死症 ・大腿骨寛骨臼インピンジメント ・大腿骨頸部骨折 	舘田健児
15	股関節の整形外科疾患	股関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・大腿骨頭すべり症 ・発育性股関節形成不全 ・単純性股関節炎 ・ペルテス病 ・梨状筋症候群 	舘田健児
16	膝関節および下腿の整形外科疾患	膝関節および下腿の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・離断性骨軟骨炎 ・半月板損傷 ・前十字靭帯損傷 ・後十字靭帯損傷 	神谷智昭
17	膝関節および下腿の整形外科疾患	膝関節および下腿の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・膝内側側副靭帯損傷 ・膝蓋大腿関節障害 ・変形性膝関節症 ・オスグット病 	神谷智昭

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
18	足関節および足部の整形外科疾患	足関節および足部の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・外反母趾 ・外脛骨障害 ・変形性足関節症 ・扁平足 ・下肢閉塞性動脈硬化症	小林拓馬
19	足関節および足部の整形外科疾患	足関節および足部の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・アキレス腱断裂 ・足関節靭帯損傷 ・先天性内反足 ・骨端症（第1・2ケラー病、セーバー病） ・足根管症候群	小林拓馬
20	スポーツ外傷と障害	スポーツ外傷と障害の概念、診断、治療、予防について学ぶ。 代表的なスポーツ外傷・障害の概念、診断、治療について学ぶ。 ・肉離れ ・腸脛靭帯炎 ・鷲足炎 ・疲労骨折 ・アキレス腱付着部症 ・足底腱膜炎	神谷智昭
21	フレイルとロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドローム、フレイルの概要、診断、治療、予防について学ぶ。	武田涼子 佐々木祐二 山根裕司
22	整形外科講義のまとめ	本講義の全体像を把握して学ぶ。 国家試験の傾向を学ぶ	武田涼子 佐々木祐二 山根裕司
23	整形外科講義のまとめ	本講義の全体像を把握して学ぶ。 国家試験の傾向を学ぶ	武田涼子 佐々木祐二 山根裕司

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験 100%

【教科書】

池田浩、高平尚伸 編集 「PT・OTの整形外科学」 文光堂 2022年

大江隆史 監修 「ロコモティブシンドロームビジュアルテキスト」 学研メディエカル秀潤社 2021年

【参考書】

青木光広 編著 「からだの機能と運動療法 上肢・体幹」 メジカルビュー社 2013年

内山英一、青木光広 編集 「からだの機能と運動療法 下肢・骨盤」 メジカルビュー社 2014年

池添冬芽 編著 高齢者理学療法学 crosslink理学療法学テキスト メジカルビュー社 2020年

鳥越精司 他 編集 「TEXT 整形外科学 改定第5版」 南山堂 2019年

【学修の準備】

1. 該当する箇所に関して教科書を事前に読み、予習した上で講義に臨むこと（80分）。最低限、どのような疾患を学ぶかを理解すること。
2. 前回の講義で学んだことを復習しておくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

（DP4）関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。

【実務経験】

武田涼子（理学療法士）、佐々木祐二（理学療法士）、山根裕司（理学療法士）、館田健児（医師）、神谷智昭（医師）、小林拓馬（医師）、宮川健（医師）、吉岡千佳（医師）、山根慎太郎（医師）、松橋智弥（医師）、瀨野博基（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医師として医療機関での実務経験を活かし、症状から診断・治療に向かう流れや、実臨床における疾患の診かたや注意点について、診療に携わる際に役立つ講義を行う。

理学療法士として医療機関での実務経験を活かし、症状から診断・治療に向かう流れや、実臨床における疾患の診かたや注意点について、診療に携わる際に役立つ講義を行う。